

令和2年度 事業報告

社会福祉法人 八幡福祉協会

全体事項

新型コロナウイルス感染症の流行により、今までの生活スタイルが急激に変化した年でした。入居者の皆様、ご家族様におきましても、今までは普通にしていたことも制限をさせていただかなくてはならない状態が続きました。

施設で生活されている入居者の皆様には、様々な制限のある生活をお願いしている中、法人としては施設内で感染者を発生させないことを最優先課題として様々な感染予防対策に取り組みました。

人材育成に関しましても、予定していました施設内研修について感染予防の観点から開催を見送り、外部研修はほとんどが中止となり、人材育成計画を再検討することとなりました。

このような状況の中で、今できること、今しかできないことを考え、ケア方法の見直しやICT化の促進に積極的に取り組みました。

入居者・利用者の皆様から笑顔が溢れ、安心して生活・利用していただき、当事業所を利用してよかったと満足いただける介護サービスを行うと共に、地域の皆様が必要とされる社会福祉法人・介護保険施設となれるよう努力して参ります。

共通事項

1、人材定着・確保への取り組み

職員が仕事をしやすい環境を整えるために、法人内での各職種、各役職の役割を明確にし、円滑に事業運営が行えるように、定期的にグループワークを中心とした施設内研修を計画しておりました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中でグループワーク形式の研修を実施することは、感染リスクを伴うため、感染予防観点から今年度は中止することとしました。

安定した事業運営を継続していくために、次世代の人材育成は法人の課題で

す。対策として、来年度に外部講師に依頼して各職員へヒアリングを行ない、現状の課題抽出を行うと共に、この課題解決に向けて専門的な研修を計画的に実施します。また、感染状況が不透明であることから、研修プログラムを通年ではなく、前期・後期の半年単位に見直して、感染防止対策を徹底して実施する予定です。

外国人技能実習生 2 名につきましては、令和 3 年 3 月から勤務開始予定でしたが、感染拡大に伴い日本へ入国できない状態となっております。状況が改善するまではオンライン面談等で実習生のモチベーションが低下しないよう努めてまいります。

2、設備関係の大規模修繕事業

一昨年、GHP から電気空調に改修する第 1 期改修工事(新館部分)を実施しました。今年度は、改修計画に基づき、本館入居者居室等の空調を改修する第 2 期工事と本館エレベーター改修工事を計画しておりました。

空調改修工事は、本館入居者の居室を春から夏にかけて予定通り改修工事を実施しました。共用部分につきましては、感染状況にもよりますが令和 3 年 4 月～7 月に実施予定です。

本館エレベーター改修工事は 8 月実施予定でしたが、1 カ月早めて 7 月に実施しました。工事中は食事の配膳等が課題でしたが、職員の協力のもと問題なく工事を完了しました。

提供する介護サービスの充実、また、介護職員の負担軽減を目的に介護見守ロボットやインカム並びにタブレット端末用介護ソフトを導入しました。これらの機器導入にあたり、京都府介護ロボット等導入支援事業補助金を活用しました。

3、感染症対策について

新型コロナウイルスの侵入を防ぐため諸対策を行いました。職員の出勤時は、施設に入る前に手指消毒を行い、外部から付けてきたマスクを廃棄し、新しいマスクを装着、また、施設内で手指が直接触れる場所（ドアノブやボタン）には消毒液を設置し、接触による感染防止に努めました。また、令和2年2月24日より入居者の面会制限（5月24日よりオンライン面会を開始）を行いました。また、外部関係者（ボランティアやマッサージ師等）の受け入れを中止し、納品業者に関しても玄関での受け渡しを徹底しました。

感染症対策の備品では日常的に使用している衛生用品（消毒用アルコール・マスク・ゴーグル・フェイスシールド、各種手袋・エプロン等）が手に入らない状況が発生しましたが、関係業者に協力してもらいサービス提供時に必要となる備品の手元在庫の確保を行いました。マスクが手に入らない時期には公共交通機関利用職員に対してマスクを現物支給し、職員の感染リスク回避に努めました。

その他、外部からの出入り口に非接触型検温計を設置すると共に、入居者・職員の食事スペースにアクリル板を設置するなど、できる限りの感染対策を行いました。

役員会等の状況

① 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
令和2年6月17日	7名	① 令和元年度事業報告（案）について ② 令和元年度収支決算（案）について ※書面議決にて開催

② 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
令和2年5月21日	6名	① 令和元年度事業報告（案）について ② 令和元年度収支決算（案）について ③ 令和2年度の昇給率及び賞与支給月等（案）について ※書面議決にて開催
令和3年2月1日	6名 （監事2名）	① 令和2年度 中間報告 ② 令和2年度収支予算補正（案）について
令和3年3月18日	6名 （監事2名）	① 令和2年度収支予算補正（案）について ② 令和3年度事業計画（案）について ③ 令和3年度収支予算（案）について ④ 評議員選任・解任委員会委員の選任について

① 監事監査の実施状況

令和2年5月14日、監事2名による監査を実施していただきました。

その結果、事業報告は、関連する法令及び通知に従い、当法人の事業の執行状況を正しく示し、適切に処理されていると認めていただきました。

その他の状況

① 衛生教育について（産業医講講話）

年月日	参加人数	内容
令和2年7月16日	22名	新型コロナウイルス・ストレスについて
令和3年3月17日	18名	目の病気について

② 職員健康診断

年 月 日	検診内容	受診者数
令和2年9月25日	職員健康診断（腰痛検診含む） ※当日未受診者は、医療機関にて実施	45名
令和2年11月5日～11月27日	職員インフルエンザ予防接種	62名
令和3年3月9日～3月19日	職員健康診断（夜勤業務実施者）	28名
令和3年3月8日	腰痛検診	20名

③ 消防訓練の実施状況

年 月 日	時 間	備 考
令和2年10月20日	14:30～	昼間訓練（消防署立会い）
令和3年3月23日	14:30～	夜間想定訓練（自主訓練）

各事業所の事業報告

施設サービス事業所

特別養護老人ホーム

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が治まらない状況が続き、施設では感染防止対策の徹底に努めました。

全入居者の検温を実施し、マスク着用が難しい入浴介助時中はフェイスシールドを着用、入居者が食事をするテーブルにはアクリル板を設置し、食事時の咳やむせ込みなどによる飛沫感染への対策及び館内の定期的な換気を徹底しました。また、外部からの感染対策として、ボランティアの方々の活動を中止すると

共に、入居者のご家族に趣旨を理解していただき、対面での面会を制限しました。5月25日よりオンライン面会を開始し、終末期の入居者の方については、感染対策を徹底した上で、個室にて直接面会していただきました。

昨年度より引き続き、入居者の排泄状態にあった介助方法やオムツの種類の見直しを行いました。具体的にはオムツメーカーのサポートによる講習会を施設内で複数回開催し、使用する商品の特性及び適切な使用方法について学ぶことで、入居者の身体状況に適したオムツの使用や介助方法の確立に努めました。その結果、入居者や介護職員の身体的負担の軽減につながりました。

新型コロナウイルス感染症の流行により、年間を通して楽しみにされていた地域行事の中止や外出等が制限される中、施設の中で楽しんでいただける企画を検討しました。

日々のレクリエーションでは、体操や歩行など入居者の方が楽しみながら身体を動かすことを中心とした内容を取り入れました。また、施設の構造特性を活かし、食堂ホールで夜桜花見をしたり、大型のスクリーンを用いて懐かしい映画や喜劇の上映会を催し、入居者の気分転換を図りました。

さらに、入居者への適切なケア及びサービスを提供するために、介護・看護の役職員を中心にしたミーティングを通じて、事業所内の状況や入居者の身体状態等を情報共有することで適切なサービス提供に努めました。入居者の身体状況の変化については、嘱託医に適切に情報提供を行い、必要時は早期に病院受診し、入居者の健康保持に努めた結果、稼働率も安定しました。新規入居者の受け入れについては他事業所との連携もスムーズ行え、空床期間の軽減につながりました。

特養入居者等の状況

① 退所状況

年 月 日 (現在)	死亡	解約の申出	合 計
令和2年3月31日	14人	4人	18人
令和3年3月31日	14人	1人	15人

② 要介護度の状況

年 月 日 (現在)	要介護度					平均要介護度
	1	2	3	4	5	
令和2年3月31日	1人	2人	27人	22人	17人	3.75
令和3年3月31日	1人	0人	29人	24人	15人	3.75

③ 利用実績

年 度	延入居者数	一日平均入居者数	備 考
令和元年度	24,465人	67.0人	稼働率 95.7%
令和2年度	24,890人	68.2人	稼働率 97.4%

④ 入居者検診状況

年 月 日	検診内容	受診者数
令和2年10月6日	胸部レントゲン撮影 在館 69名	64名
令和2年11月2日～ 令和2年11月27日	入居者インフルエンザ予防接種 ※入院中の入所者については、入院先の病院で接種されています。	65名

⑤ 行事等実施状況

開催日	行事名	開催日	行事名
8月	花火大会	12月	年忘れ会
8月	夏祭り	12月	もちつき大会
10月	運動会	12月	居酒屋

研修（実習）受入状況

令和2年度は、介護福祉士実習として京都八幡高校介護福祉科の受入れ依頼がありましたが、新型コロナウイルス流行時期と重なり、入居者への感染防止のため受け入れを見送りました。

※施設見学会等も開催を見送りました。

（介護予防）短期入所生活介護事業所[ショートステイ]

新型コロナウイルス感染症が流行する中、ショートステイはご家族の介護負担軽減を図るための重要なサービスであり、感染予防対策を徹底し、サービス提供を維持していけるように努めました。

ショートステイの利用者は外部との接点がある為、送迎時に検温を行い家族から健康状態を聞き取りするなど、施設内感染のリスク回避に努めました。

入所後も健康状態を観察して、発熱や咳等の症状が見られた場合は速やかに隔離対応し、家族に病院受診を依頼しました。利用者の状態によってはサービスを中止していただきました。

利用していただく際は、できる限り自宅での生活に近い形でのサービス提供に努めると共に、創作活動や身体を動かすレクリエーションなど楽しみながら利用していただける取り組みを考え実践しました。特に利用者と職員が共同して行う、日々の出来事や行事の写真をまとめて記事にする新聞製作は、利用者も積極的に参加されました。

社会福祉法人は地域のセイフティーネットとしての役割を担っており、八幡市から緊急性が高い依頼があれば積極的に対応し、在宅生活の継続が困難なケースについては、安心して生活が送れるように特養入所へ繋ぎました。

ショートステイ年間利用実績（短期入所・介護予防短期入所）定員 14 名

年 度	年 間	月平均	一日平均	稼働率
令和元年度	3, 284人	273.6人	8.9人	63.5%
令和2年度	2,644人	220.3人	7.2人	51.7%

在宅サービスセンター

（介護予防）通所介護事業所

利用者個々の状況に応じた生活リハビリを中心に運動機能の維持・向上に取り組みました。職員が日頃より利用者の足の状態を観察し、看護師と連携を取りながら爪のケアや疾患等の改善を図ると共に、必要な方にはフットマッサージやメドマーを使用して、浮腫や血行の改善にも取り組みました。また、利用者がゲーム感覚で楽しみながらリハビリができるように歩こう会（歩行訓練）を実施しており、たくさんの利用者が参加されています。

一日を通してレクリエーションを実施する事により、バリエーションを増やし利用者が自由に選択できるような取り組みや、年間イベント（夏祭り・クリスマス・運動会等）を企画して、新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら実施しました。

利用者やご家族が安心してデイサービスを利用できるように、利用中の様子や気付いたことなどをふれあいノートに記載して、ご家族にお知らせしていくことでご家族の安心につなげました。またご家族からの相談・要望・苦情等があれば役職員及び相談員が主となり迅速かつ丁寧に対応しました。また利用者の体調等を看護師や職員が日頃からしっかり把握して、体調不良や特変時には速やかにご家族及び主治医並びに関係機関へ連絡して、適切な対応を行うこと

で大きな事故やケガもなく事業を運営することができました。

新型コロナ感染予防対策として、利用者のマスク着用・手指洗浄・アルコール消毒・換気等の徹底と加湿器及びアクリル板の設置を行うなど感染予防に努めました。

利用実績

年 度	要介護 1~5	要支援 1, 2	一日平均	備 考
令和元年度	5, 8 1 7人	3 7 3人	1 9 . 9人	
令和 2 年度	5, 5 1 6人	3 4 6人	1 8 . 9人	

行 事 名	実 施 期 間	参加延べ人数
夏祭り	令和 2 年 8 月 19 日~8 月 21 日	65 名
運動会	令和 2 年 10 月 14 日~10 月 16 日	59 名
クリスマス会	令和 2 年 12 月 17 日~12 月 19 日	57 名

通所型サービスB事業（ぽかぽか庵）

年度初めは新型コロナウイルスの（第一波）影響もありサービスを中断していましたが、7月中旬より利用者の人数制限や食事席の配置等を変更して、感染症対策を徹底したうえでサービスを再開しました。地域の要支援及び事業対象者の方に外出の機会をもってもらい社会参加をして頂くことにより、閉じこもり予防に努めたり、地域住民等の協力を得ながら事業を運営しました。

年 度	開催回数	利用延べ人数	1 回平均人数
令和元年度	9 1 回	5 8 0 人	6 . 4 人
令和 2 年度	7 5 回	4 4 9 人	6 . 0 人

居宅介護支援事業所

当館の通所介護事業所及び他事業所職員と日頃よりコミュニケーションをとって良好な関係を築くと共に、定期的にミーティングを行い利用者の情報共有や事業運営に関する協議を迅速に進めて事業を円滑に進めることができました。

コロナの影響で各種団体の開催する専門研修会等に参加する機会は減少しておりましたが、ズーム等での研修に参加するなど、情報収集と自己研鑽に努めました。

地域包括支援センター及び市内居宅サービス事業所、各関係機関との連携を強化し、情報交換や情報提供を行うことで利用者の生活及びサービスの質の向上に努めました。

在宅介護支援センター

(八幡市受託業務内容)

地域の相談窓口として、相談があった場合は要介護高齢者等の心身の状況又はその家族の状況を把握して介護ニーズの評価を行い、必要に応じて、行政機関や地域包括支援センターへ繋いでいます。

各種保健福祉サービスの種類、利用方法、手続き等に関する情報の提供と、必要に応じてサービスの申請代行（要介護認定、住宅改修、福祉用具の購入）を行いました。

月曜日～土曜日の昼食の配食サービスに加え、当館独自の配食サービス（夕食）を実施しました。

閉じこもり予防事業（はつらつ健康教室）についてはコロナの影響もあ

りましたが、7月22日より再開して計19回実施できました。またレクリエーションの充実を図るため、通所介護事業所職員と連携を取りながら事業を運営しました。

相談業務実施状況

年 度	年 間	月平均	備考
令和元年度	51件	4.2件	
令和2年度	32件	2.7件	

訪問調査等実施状況

年 度	訪問調査件数	福祉用具購入支援数	住宅改修支援数
令和元年度	28件	3件	22件
令和2年度	19件	2件	5件

八幡市（昼食）

年 度	人数	延べ食数
令和元年度	165人	2,500食
令和2年度	166人	1,936食

八勝館独自サービス（昼食・夕食）

年 度	人数	延べ食数
令和元年度	112人	1,515食
令和2年度	84人	1,475食

介護予防事業開催状況（はつらつ健康教室）

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
令和元年度	22回	297人	13.5人
令和2年度	19回	145人	7.6人

調理室

新型コロナウイルス感染予防対策として、日頃より調理機器の取っ手やドアノブ等職員が共用で使用する箇所全てにおいてアルコール消毒を徹底的に実施して感染予防に努めました。

4月キュービクル工事、7月のエレベーター工事では、作業内容や業務変更を行い、また他事業所の協力も得ながら大きな問題もなく計画通り食事を提供できました。また松花堂弁当をはじめ夏祭り、年忘れ会等の季節ごとの行事食も提供しました。

作業の効率化や衛生面の観点より、特養の食札等を手書きからパソコンでの管理に変更したり、その他の作業についても効率化とミスの軽減を目標に作業内容の見直しを随時行いました。また入居者に合った使いやすい食器に変更して、入居者がおいしく食事しやすくなるよう取り組みました。

8 理事・監事・評議員等名簿

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日
理事長	遠州 伸高	令和元年6月21日
業務執行理事	藤井 さよ子	〃
〃	中川 晶勝	〃
理事	河本 直樹	〃
〃	佐野 良夫	〃
〃	本郷 俊明	〃
〃	松井 寿文	〃

役職名	氏名	就任年月日
監事	北村 章	令和元年6月21日
〃	大高 俊生	〃

役職名	氏名	就任年月日 ※任期4年
評議員	松崎 祥三	平成29年4月1日
〃	波田 容子	〃
〃	山本 政名	〃
〃	遊佐 勝彦	〃
〃	松田 千登勢	〃
〃	岩田 晃一	〃
〃	梶原 寛之	令和元年7月1日

